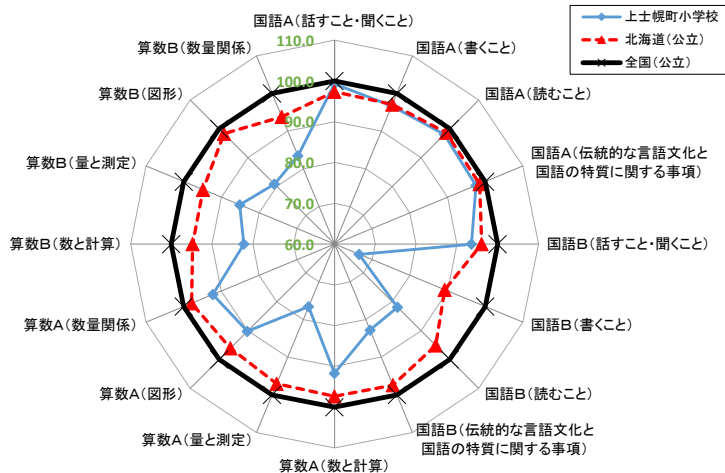


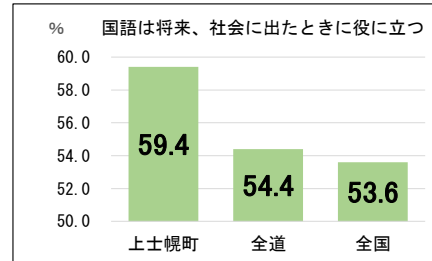
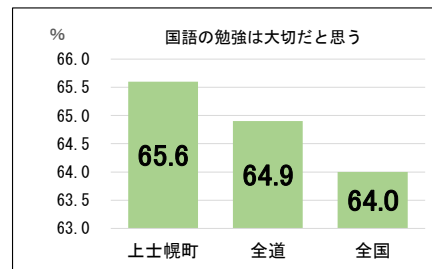
■ 上士幌町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:32名)

【教科全体の状況】

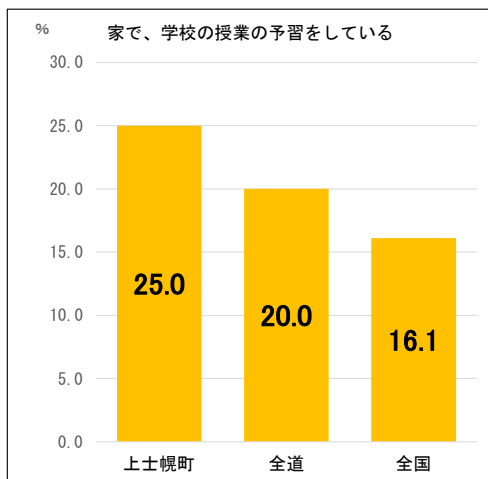
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



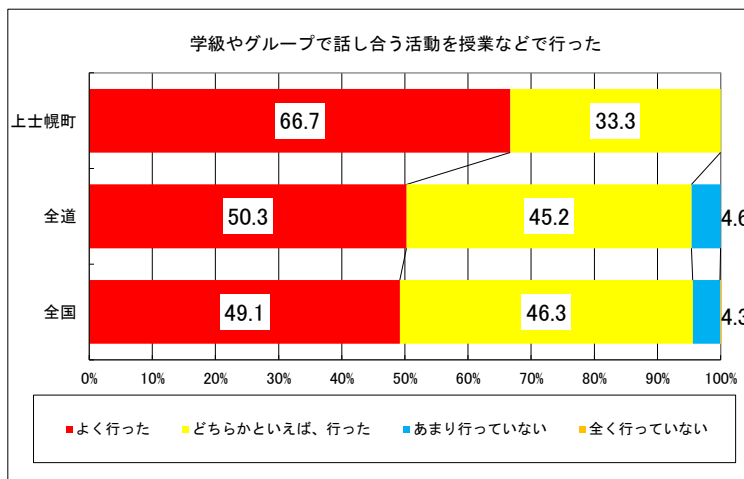
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の項目が、他の領域に比べて高い。	○ 各学校で、学級やグループで話し合う活動を取り入れた授業について、全校的な取組を進めた結果、国語の勉強は大切である、国語は将来、社会に出たときに役立つと感じるようになり、家で学校の授業の予習をする児童が増加し、国語A「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の力が高まってきていると考えられる。
児童質問紙	○ 国語の勉強は大切だと回答する児童や、国語は将来、社会に出たときに役立つと回答する児童が多い。 ○ 家で、学校の授業の予習をしている児童が多い。	
学校質問紙	○ 学級やグループでの話し合う活動を授業などで行った学校が多い。	

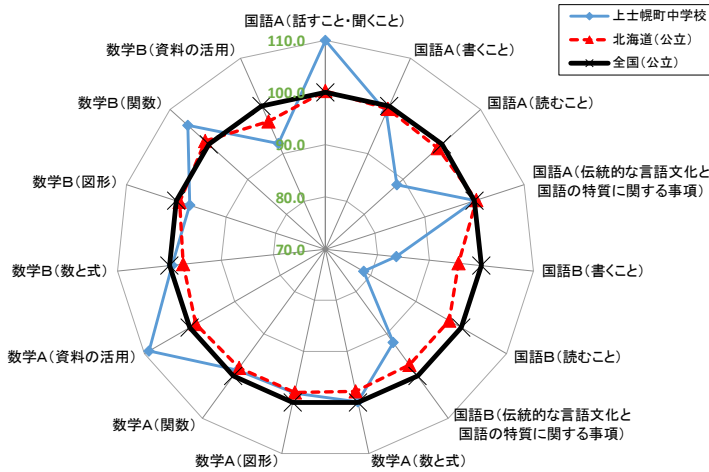
【上士幌町の学力向上策】

- ◎ TTや習熟度別指導による基礎・基本の確実な定着
- ◎ 学びの連続性確保に向けた小中高連携教育推進会議による小中連携、一貫教育の推進
- ◎ 教育課程に位置付けたチャレンジテストの計画的な実施
- ◎ 生活リズムの確立と家庭学習の習慣化

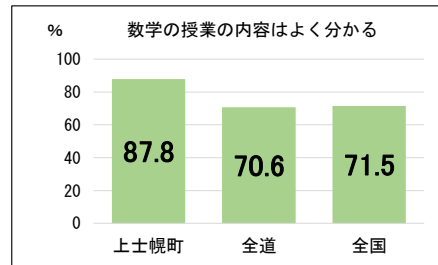
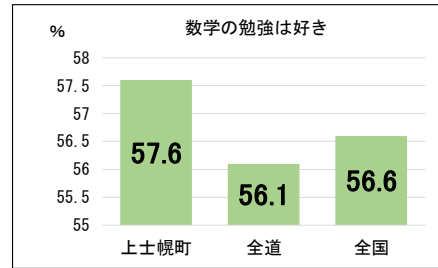
■ 上士幌町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:33名)

【教科全体の状況】

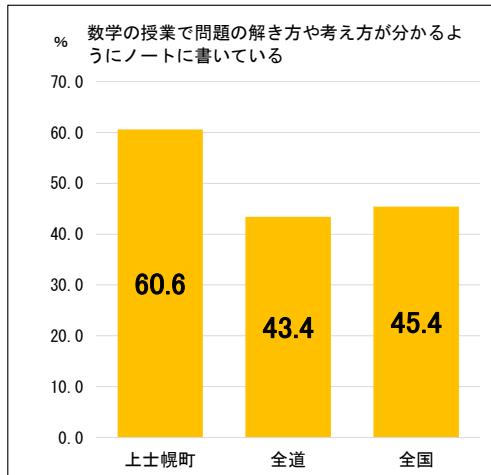
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



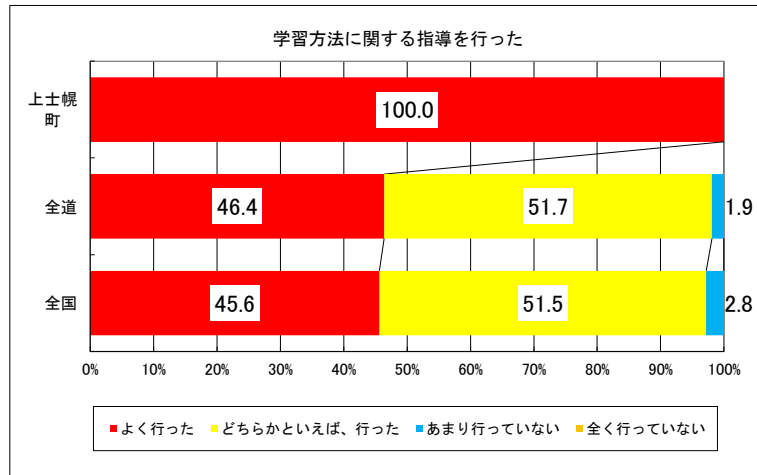
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学A「資料の活用」、数学B「関数」において、全国平均を上回っている。	○ 学習方法(適切にノートにとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導について、全校的な取組を進めた結果、数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書く学習が定着し、数学の勉強が好き、数学の勉強がよく分かると感じる生徒が増加し、数学A「資料の活用」、数学B「関数」の力が高まってきていると考えられる。
生徒質問紙	○ 数学の勉強は好き、数学の勉強はよく分かると回答する生徒が多い。 ○ 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている生徒が多い。	
学校質問紙	○ 学習方法(適切にノートにとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導を行った。	

【上士幌町の学力向上策】

- ◎ TTや習熟度別指導による基礎・基本の確実な定着
- ◎ 学びの連続性確保に向けた小中高連携教育推進会議による小中高連携、一貫教育の推進
- ◎ 教育課程に位置付けたチャレンジテストの計画的な実施
- ◎ 生活リズムの確立と家庭学習の習慣化